

# 平成18年度9月補正予算

## 主 要 事 業

福 井 県

---

---

～ 事業内容の見方について ～

1. 事業名称の先頭に

「新」とあるのは、18年度9月補正の新規事業です。

「・」とあるのは、18年度9月補正において拡充した事業です。

2. 事業名称の後に

とあるのは、「新世紀政策推進枠事業」に該当するものです。

《「新世紀政策推進枠事業」…「福井元気宣言」の実現のために、行財政構造改革の推進により生み出す財源で行う事業(ただし施設改修、公共事業関連を除く。)》

チャレンジふくい	とあるのは、「 <sup>チャレンジ</sup> 挑戦ふくい - 福井県経済社会活性化プラン - 」を具体化するために実施する事業です。
----------	--

県民参加	とあるのは、広く意見を募集し、県民の皆さまに予算編成過程に参加していただいた事業です。
------	---

電源	とあるのは、本県等の提案により用途が弾力化した国の電源交付金・補助金を有効に活用して実施する事業です。
----	---

# 元 気 な 産 業

## ～ 経済対策の緊急発動 ～

### 経済対策の発動

15,000人の雇用創出

予 算 額  
(単位：千円)

- ① 新ふるさと企業人材確保支援事業（産業労働部） チャレンジふくい 県民参加 3,830
- 地元企業への就職促進と人材確保を図るため、地元企業の魅力を学生、保護者、大学等に紹介する「ふるさと企業魅力発見フェア」を開催します。
- 内 容 地元企業のPR展示、企業の個別説明、職業相談、Uターン就職相談  
開催時期 19年1月5日（予定）  
開催場所 福井県営体育館  
参加企業 100社  
参加者数 800人

- ② 新ふるさと企業情報提供事業（産業労働部） チャレンジふくい 県民参加 -
- 学生、保護者への地元企業の情報発信を充実するため、「福井若者就職ナビ（仮称）」の開設や市町広報誌による情報提供を行います。
- 情報内容 地元企業の紹介（「実は福井の技」の優れた技術の紹介、子育て応援プラスワン宣言企業等）  
就職支援行事や就職支援機関の紹介

## ～ ものづくり・新産業創出 ～

### やる気のある企業や創業に対する強力なバックアップ

ふくい南青山291の機能拡充

- 「ふくい南青山291」県産品ショップ機能強化事業（産業労働部） チャレンジふくい 5,000
- 「ふくい南青山291」における県産品の販路開拓を促進するため、1階ショップの陳列什器や照明設備の改善・充実を行います。

## 先端産業の誘致

### 大胆な企業誘致の展開

企業立地促進補助金（産業労働部） 1,312,900

産業クラスター形成の核づくりを担う企業をはじめ、本県への企業立地を促進するため、土地取得費、建物・設備整備費等に対して補助を行い、本県の産業構造の高度化と雇用機会の拡大を図ります。

対象業種 先端技術産業、一般製造業、情報サービス業、試験研究所  
今回支援 5社

## ～ 福井の豊かさを支える農林水産業 ～

### 農業

#### 県産農産物の販路拡大

①新健康長寿ふくいのウメ販売強化事業（農林水産部） チャレンジふくい 7,334

福井うめを原料とする梅干しの生産量を増加するため、製品加工施設の拡充を支援します。併せて、福井うめの一層の市場拡大を図るため、一次加工品を活用した新商品を開発します。

事業主体 JA三方五湖  
補助率 県1/3  
事業内容 梅干し加工施設の拡充（200トン/年 400トン/年）  
新商品（好みの味付けが可能な「簡単梅干しキット」）の開発

②新全国米・食味分析鑑定コンクール支援事業（農林水産部） チャレンジふくい 200

本県産米の全国的な評価向上を図るため、全国米・食味分析鑑定コンクールにおける「イクヒカリ・ハナエチゼン部門」の創設に要する経費を支援します。

実施主体 米・食味鑑定士協会  
開催日 18年11月25日  
開催場所 武生パレスホテル（越前市府中）

---

---

# 元 気 な 社 会

## ～ 女性の元気が福井の元気 ～

### 子育て環境づくり

小児救急・周産期医療ネットワークの整備

予 算 額  
(単位：千円)

⑧新周産期医療体制整備事業（健康福祉部）

県民参加

73,782

県立病院の新生児集中治療室（NICU）を増床し、安心して出産できる環境を充実させます。

事業内容 NICUの増床（9床から12床）  
増床に伴う医師（1名）看護師（7名）の増員  
新生児用人工呼吸器、保育器等設備の整備

## ～ 未来を託すひとづくり ～

### 未来を託すひとづくり

きめこまかな教育体制の充実

福井東養護学校給食事業（教育庁）

10,866

福井東養護学校において、19年4月から県立病院施設で調理する給食を開始するため、調理・運搬用備品の整備、調理業務の準備等を行います。

事業内容 備品等（加熱カート、食器類）の整備  
給食業務の準備（献立作成、給食の試行等）  
栄養システムの整備

## 元気百歳プロジェクト

地域がん医療水準の向上

### ⑧新がん診療連携拠点病院機能強化事業（健康福祉部）

8,572

がん患者やその家族、地域の医療機関からの相談に対応し、質の高いがん医療体制を整備するため、がん診療連携拠点病院における相談支援センターの開設や院内がん登録の拡充、地域のがん医療に従事する医師を対象とした研修など、機能強化を図ります。

実施主体 福井県立病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院

補助率 国1/2 県1/2

### ⑨新がん看護実践力向上研修事業（健康福祉部）

4,805

がん看護に携わる看護師の専門的な能力の向上を図るため、先進的ながん治療を行う病院において実践的な研修を実施します。

研修概要 期間 40日間

定員 20人

場所 福井県立病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院、福井大学医学部附属病院

財源内訳 国10/10

本県が持つ高度な陽子線技術をがん治療に応用

### 陽子線がん治療施設整備事業（健康福祉部）

チャレンジふくい

電源

<継続費> <7,665,320>

若狭湾エネルギー研究センターにおける陽子線がん治療研究の成果や、全国的に優れたがんの診断・治療技術を活かし、陽子線がん治療施設を県立病院に整備します。

事業計画 17年度～21年度 設計、工事、試験調整、治療開始

22年度～24年度 治験、薬事承認（高度3次元照射システム）

（継続費設定期間 18年度～24年度）

県立病院の再整備

県立病院関連施設再整備事業（健康福祉部・教育庁）

< 債務負担行為 > <246,086>

陽子線がん治療施設の建設予定地にある小児療育センターB棟の解体工事を行います。

工 期 19年4月～10月

県立病院建設事業（第二期建設工事）（健康福祉部）

867,641

< 継続費 > < 332,136 >

昨年末から今年初めの降雪等により、外構工事の一部の進捗が遅れることが見込まれるため、工期を19年5月まで延長します。

建設計画 こころの医療センター（精神病棟） 19年1月完成予定

外構工事 19年5月完成予定

継 続 費

	年 度	総 額
変更前	平成16年度～平成18年度	7,138,995 千円
変更後	平成16年度～平成19年度	6,806,859 千円

「健康長寿ふくい」の推進

⑧「健康長寿ふくい」情報発信強化事業

3,971

（部局連携：健康福祉部・総務部・産業労働部・農林水産部）

チャレンジふくい

世界トップクラスの健康長寿な地域である福井県を国内外に広くアピールするため、大都市における「健康長寿ふくい」をテーマとする講演の開催や「健康長寿ふくい」を表すPRデザインの作成・活用により、「健康長寿ふくい」の発信強化を図ります。

事業内容 海外研究者、家森「健康長寿ふくい」推進特別アドバイザー、県立大学研究者による講演の開催

「健康長寿ふくい」デザインを活用したグッズ・ホームページの作成  
ふくい青山291やインターネットを活用した県産品の販売など

県民健康・栄養調査事業（健康福祉部）

4,656

「健康長寿ふくい」の推進のため、メタボリック（内臓脂肪型肥満）の概念に着目した実態調査を行い、生活習慣病の予防対策など、今後の県民の健康づくり施策に反映させます。

調査項目 栄養摂取状況  
身長、体重、血圧、腹囲、一日の歩数  
血液検査  
生活習慣（食事、アルコール、たばこ）  
県民の健康意識

調査対象 約2,000人（県内20地区）

---

---

## 一人ひとりの命が輝く福祉

障害者が安心でき、夢を持てる社会づくり

⑧	障害者就労訓練設備等整備事業（健康福祉部）	39,041
	「障害者自立支援法」（18年4月施行）に基づく就労移行・就労継続支援事業等への円滑な移行を図るため、必要となる備品（ミシン、印刷機、作業用車輛等）の購入、施設の改修に対して補助を行います。	
	補助対象箇所 11施設	
	補助限度額 1施設あたり500万円（20人未満の小規模事業所は200万円）	
	補助率 国10/10	
⑨	障害者施設利用料減免支援事業（健康福祉部）	15,739
	「障害者自立支援法」（18年4月施行）による利用者（障害者）負担の見直しに伴い、通所・居宅サービスを行う社会福祉法人等が利用料の減免を行った場合について、減免額の一部を補助します。	
	減免対象者 年金等による本人収入が年80万円以下の者かつ市町村民税非課税世帯（低所得者1） 市町村民税非課税世帯（低所得者2）	
	減免対象額 低所得者1 月額利用料 7,500円を超える額 低所得者2 月額利用料12,300円を超える額（ただし、通所サービス利用の場合、7,500円を超える額）	
	補助対象者 社会福祉法人等	
	補助率 国1/2 県1/4（市町1/4）	



# 元気な県土

## ～ 原子力は県民の立場に立って～

### 原子力は県民の立場に立って

電源三法交付金を活用した電源地域の振興

予 算 額  
(単位：千円)

原子力発電施設等立地地域補助事業（総合政策部）電源 500,000

国の原子力発電施設等立地地域特別交付金により、原子力発電施設等立地地域の市町が実施する企業の導入、産業関連技術の振興、その他雇用機会の増大に寄与する事業に対して補助します。

実施主体 おおい町

事業内容 わかさ大飯マリンワールド内の複合型交流施設整備

全体事業費 2.8億円（交付金充当額2.5億円 18年度～22年度の5年間）

補助率 国10/10

## ～ 福井は列島のまん中 - より近くより便利に - ～

### 福井は列島のまん中

交通ネットワークとして不可欠な地域の道路網を整備

一般国道27号美浜東バイパス整備事業（土木部） 323,000

美浜町における渋滞を解消し、嶺南地域の円滑な道路網を構築するため、国直轄事業により整備を進めている一般国道27号美浜東バイパスについて、19年度末の供用を目指し、整備を促進します。

事業区間 美浜町山上～同町佐柿（暫定2車線）

18年度事業費 1,760,000千円

県負担額 445,867千円

（当初予算1,222,867千円に3,233,000千円を増額）

敦賀港の活性化

敦賀港多目的国際ターミナル整備事業（土木部） 314,000

貿易の拠点港として敦賀港の機能充実、活性化を推進するため、国直轄事業により整備を進めている多目的国際ターミナルの大型船対応岸壁について、19年度末の完成を目指し、整備を促進します。

事業箇所 鞠山南地区（1バース280m分）

18年度事業費 1,430,000千円

県負担額 549,120千円

（当初予算2,351,200千円に3,144,000千円を増額）

# 元 気 な 県 政

～ 夢あるふるさとづくり ～

## ビジットふくいの推進

観光地の活性化

予 算 額  
(単位：千円)

「ビジットふくい」観光客誘致拡大事業（産業労働部）

チャレンジふくい

<債務負担行為>

<25,000>

年度当初から機動的に魅力ある新しい旅行商品を生み出し、年間を通した観光客誘致を推進するため、19年度上期（春・夏）の旅行企画選考を行います。

実施主体 （社）福井県観光連盟

事業内容 選考した旅行企画に基づき1事業者につき50人を超える送客実績に応じ、51人目から助成（1事業者10,000千円上限）

助成単価 ポイント制を導入し、旅行企画の内容に応じ1人当たり1,500～3,000円を助成

・河野海岸有料道路の利便性の向上と利用促進（土木部）

チャレンジふくい

河野海岸有料道路の利便性の向上と利用の促進を図るため、17年度に引き続き周辺の観光施設と連携した料金割引サービスを提供するとともに、新たに夜間や大雪時の通行無料化を実施します。

事業内容

観光施設との連携

内 容 かに、水仙のシーズンに、周辺観光施設とセットになった割引チケットを発行

実施時期 18年11月1日～19年1月31日

新 夜間の通行無料化

内 容 19:00～翌朝8:00の無料開放を実施

実施時期 18年11月1日～

新 大雪時の通行無料化

内 容 大雪警報発令時等に、国道8号等の迂回路として無料開放を実施

## 環境保全

### 産業廃棄物の適正処理の推進

指定有害廃棄物撤去事業（安全環境部） 29,864

放置されている指定有害廃棄物（硫酸ピッチ）について、生活環境を保全するため、行政代執行等により撤去します。

対象事案 4件（勝山市荒土町、鯖江市和田町、あわら市北潟、越前市安養寺町）  
措置内容 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく県の措置命令等に従わない場合、行政代執行を実施し、行為者に求償（大規模な事案について（財）産業廃棄物処理事業振興財団出捐金5,901千円を充当）

### 社会全体で環境を保全する政策を推進

敦賀市民間最終処分場抜本対策事業（安全環境部） 94,389

処分場からの浸出水による生活環境保全上の支障を防止するため、行政代執行の一環として、国の支援を受けて19年度から着手する抜本対策工事に向けた実施設計を行います。

負担割合 県8/10、敦賀市2/10

## まちづくり

### 県都の活性化の推進

①新夜景を活かした魅力あるまちづくり事業（総合政策部） 県民参加 2,133

「夜景を活かした魅力あるまちづくり」を福井市とともに進めるため、アンケートやモニターの意見を踏まえて検討します。

事業内容 「夜景を活かした魅力あるまちづくり」協議会（仮称）の開催  
夜景を見るための候補地選出  
夜景を見るための施設の仮設とモニターの夜間景観実地見学  
全体事業費 4,266千円（福井市 2,133千円）

### 鉄道快速化に伴う嶺南地域のまちづくり

②新鉄道快速化による観光地周遊バス試行運行支援事業（産業労働部） チャレンジふくい 県民参加 電源 1,655

敦賀までの快速電車の開通を契機とした観光誘客を促進するため、嶺南の観光地を結ぶ周遊バスの試行運行を支援します。

実施主体 三方五湖広域観光協議会  
運行期間 18年10月21日～19年3月31日の土・日・祝日  
延べ50日（正月除く）  
運行ルート 敦賀駅発着で美浜町、若狭町の主要観光地を周遊  
補助率 県1/2（2町 1/2）

## 中心市街地活性化

- ⑧新中心市街地活性化推進事業（産業労働部） チャレンジふくい 1,530
- 中心市街地への様々な都市機能の集約および周辺との調和のとれたまちづくりに向けて、県民の意見を幅広く聞きながら、学識経験者等の専門家で構成する「中心市街地活性化懇話会（仮称）」において協議し、大規模集客施設の適正立地等に関するガイドラインおよび中心市街地活性化支援プランを策定します。

## 安全・安心

### 子どもの安全・安心

- ⑨新ボリス・スタンバイ作戦（警察本部） 3,955
- 子どもの安全を確保し、街頭でのあらゆる事案に迅速に対応するため、県内全交番に白色自転車を配備し、通学路や住宅街などをきめ細かくパトロールするとともに、主要交差点等での監視を強化するなど、県民に警察官の姿が見えるようパトロールや街頭活動の強化を図ります。
- 白色自転車配備数 78台（1交番当たり2台）

## 文化

### 文化・スポーツ・生涯学習の振興

- ⑩新福井フットサル・フェスタ開催支援事業（教育庁） 県民参加 2,000
- 年間を通じて気軽に楽しめるフットサル(室内ミニサッカー)競技大会を核としたイベントの開催を支援し、生涯スポーツの振興と県民の健康増進を図ります。
- |      |  |
|------|--|
| 実施主体 | 福井フットサル・フェスタ実行委員会  |
| 開催時期 | 18年12月中旬（2日間）予定  |
| 開催場所 | サンドーム福井  |
| 事業内容 | フットサル大会の開催<br>4部門（キッズ、ジュニア、女性、一般）96チーム参加<br>関連イベントの開催<br>ファミリー向けサッカー教室、エキシビジョンマッチ等 |

## 平成 1 8 年度 9 月補正予算 (新世紀政策推進枠事業)

今回の補正予算では、「健康長寿」など県政の重要課題に的確に対応するため、「新世紀政策推進枠」として21事業、一般財源で約1億円を予算化します。

この結果、これまでの取組みと合わせると、新世紀政策推進枠事業は489事業、一般財源総額で約218億円となります。

(単位：百万円)

予算区分	福井元気宣言の項目	事業数	予算額	予算額のうち 一般財源
18年度 9月補正 (今回)	元気な産業	5(4)	16	16
	元気な社会	9(6)	161	113
	元気な県土	-	-	-
	元気な県政	7(5)	11	10
	計	21(15)	188	139

事業数の( )内は新規事業数(内数)

これまでの 取組分	元気な産業	161	19,207	5,728
	元気な社会	122	15,524	8,080
	元気な県土	30	13,977	1,705
	元気な県政	161	9,669	6,185
	計	474	58,377	21,698
累 計	元気な産業	165	19,223	5,744
	元気な社会	128	15,685	8,193
	元気な県土	30	13,977	1,705
	元気な県政	166	9,680	6,195
	計	489	58,565	21,837

# 18年7月豪雨災害対策

18年7月に発生した豪雨災害について、今回の補正予算により必要な額を措置し、被災箇所の早期の復旧を行います。

予算額  
(単位：千円)

## 1 社会基盤の早期復旧

### (1) 道路・河川・砂防施設等の復旧

#### 河川等災害復旧事業(公共)

事業期間	18年度～20年度	
対象箇所	道路	43箇所
	河川	92箇所
	砂防等	49箇所
所要額	1,730,000千円(18年度分) (当初予算2,900,000千円内で対応)	
財源内訳	国2/3 県1/3	

-

#### 河川等災害復旧事業(県単)

対象箇所	道路	140箇所
	河川	112箇所
	砂防等	39箇所

572,000

### (2) 農林水産施設の復旧

#### 耕地災害復旧事業(公共)

事業期間	18年度～19年度	
実施主体	市町	
対象箇所	農地等 195箇所	
補助率	農地	国50%～(市町～50%)
	施設	国65%～(市町～35%)
所要額	220,000千円(18年度分) (うち150,000千円は当初予算で対応)	

70,000

林道施設災害復旧事業（公共）	49,500
事業期間	18年度～19年度
実施主体	市町
対象箇所	林道 96箇所
補助率	国60%～（市町～40%）
所要額	175,000千円（18年度分） （うち125,500千円は当初予算で対応）
林道施設災害復旧事業（県単）	10,000
実施主体	市町
対象箇所	林道 54箇所
補助率	県1/2（市町1/2）
治山施設災害復旧事業（県単）	19,800
実施主体	県・市町
対象箇所	治山施設等 20箇所
補助率	小規模荒廃地復旧 県1/2（市町1/2） 治山施設復旧 県10/10（実施主体 県）

## 2 再度災害の防止

災害対策緊急河川事業（公共）	600,000
多数の浸水被害が発生した地域の再度災害を防止するため、河川改修の事業期間を短縮して実施します。	
対象箇所	江端川（福井市江端町）
事業内容	21年度までの河川改修計画区間（約500m）の築堤・掘削・護岸工を18年度に実施
所要額	820,000千円（うち220,000千円は当初予算で対応）
財源内訳	国1/2 県1/2
災害関連緊急治山事業（公共）	160,550
災害により荒廃した山地で、次の降雨等により被害が拡大するおそれのある箇所について、緊急に保安施設の復旧整備を行います。	
対象箇所	4箇所（南越前町糠、南越前町大良、越前市相木町、勝山市平泉寺町）
事業内容	法枠工、土留工等
財源内訳	国2/3 県1/3

---

## 平成18年度9月補正予算 (職員提案型ゼロ予算事業)

今回の補正予算でも、当初予算に引き続き、既存の事業や施設の有効活用など職員の創意工夫を凝らした特別な予算措置を伴わない事業を推進することとしました。

④新ふるさと企業情報提供事業(産業労働部)  
(再掲) P1

-

・河野海岸有料道路の利便性向上と利用促進(土木部)  
(再掲) P8

-